

■ YONEMURA Toshiaki 米村 俊昭

MEXT (科研費)

1. キラル増殖型集積化反応を利用した環境応答機能発現メカニズムの解明と応用 (代表: 米村俊昭) 基盤研究(C), 平成27年度~30年度, 800千円.
2. 硫酸イオンを含む新規多機能性金属酸化物クラスターの合成と機能発現メカニズムの解明 (代表: 上田忠治) 基盤研究(C), 平成25年度~27年度, 50千円.
3. 現代病マーカー分子一酸化窒素の高選択的センサー電極の開発 (代表: 小澤智宏) 基盤研究(C), 平成26年度~28年度, 150千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[奨学寄附金]

1. 新規機能性無機化合物の開発に関する研究に対する学術研究助成金, 米村俊昭, 500千円.

[受託事業]

1. 光学異性体の識別に挑戦! ~目や鼻だけでなく最新装置を使って分子を見分けよう~ (代表: 米村俊昭) 学術振興会, 研究成果の社会還元・普及 ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~ KAKENHI, 310 千円.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Nakashima M., Ozawa T., Yonemura T., Syntheses and polymerization reactions of optically active cobalt(III) complexes with thiocarboxylic acid, The 15th International Conference on Chiroptical Spectroscopy, Sapporo, Japan (2015/8/31)

Domestic:

1. 福本翔平・藤田紀子・米村俊昭, ヘテロ環チオラト配位子を有する銀(I)錯体の合成と固体発光性, 第65回錯体化学会討論会, 奈良 (2015/9/21)
2. 清水大嗣, 岡崎麻紗, 小澤智宏, 米村俊昭, 硫黄架橋パラジウム-銀およびコバルト錯体の合成と性質, 2015年日本化学会中国四国支部大会, 岡山 (2015/11/14)
3. 石井亜澄, 藤田紀子, 米村俊昭, チオウラシル銀錯体の合成と固体発光特性, 2015年日本化学会中国四国支部大会, 岡山 (2015/11/15)

Other Details (その他)

[地域貢献活動]

1. 出前授業, 化学と生物学の境界領域で注目される環境指向型先端材料 ~理学部における応用研究~, 明石北高等学校 (2015/7/13).
2. 出前授業, 理学と工学の発想を融合することで生み出された多機能ハイブリッド材料, 相生高等学校 (2015/10/21).

[学外委員]

1. 科学の甲子園高知県大会実行委員
2. 科学の甲子園高知県大会審査委員
3. 高知県資格試験アドバイザー

[部門選出の全学委員]

1. 総合科学系教授会委員

[学内の研究経費]

1. 文部科学省特別経費「レアメタル戦略グリーンテクノロジー創出への学際的教育研究拠点の形成」
2. 文部科学省特別経費「海洋性藻類を中心とした地域バイオマスリファイナリーの実現に向けた新技術の創出」

■ HADANO Shingo 波多野 慎悟

MEXT (科研費)

1. ファージインターフェース制御技術の確立とバイオセンシングへの応用 (代表:渡辺茂) 基盤研究(C), 平成27年度~29年度, 500千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[共同研究]

1. PNIPAMを親水性ブロックとする側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマー薄膜中でのPNIPAMドメイン (代表:波多野慎悟), 物質・デバイス共同研究拠点一般研究課題, 平成27年度, 100千円. (間接経費を含む).

[学内競争的経費]

1. 感温性ナノチャンネル分離膜への応用を目指した側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマーの開発(代表:波多野慎悟), 学長裁量経費, 平成27年度, 800千円.
2. 実験教育の改善をベースとした実践的総合科学力育成プログラム(代表:波多野慎悟), 学長裁量経費(教育GP), 1,000千円.
3. 温度応答性垂直配向ナノシリンドラードメインを有するマイクロ分離膜の開発(代表:波多野慎悟), 教育研究活性化事業(研究促進), 平成27年度, 45千円.

Journal Publications (論文)

1. Tsubaki, S., Hiraoka, M., Hadano, S., Okamura, K., Ueda, T., Nishimura, H., Kashimura, K., Mitani, T., Effects of Acidic Functional Groups on Dielectric Properties of Sodium Alginates and Carrageenans in Water, *Carbohydrate Polymers*, 115, 78-87 (2015)
2. 藤本彩, 清岡千尋, 波多野慎悟, 渡辺茂, レクチン修飾金ナノ粒子を利用した"ラクトフェリン"の凝集黄色・光散乱分光分析, *分析化学*, 64(9), 679-687 (2015)

Books (著書)

1. 高知大学化学系教員著, 化学研究最前線—土佐で夢追う研究者たち—『マイクロ相分離構造が切り開くナノテクノロジー—ブロックコポリマーテンプレート工学—』, 飛鳥出版室, 94-101 (2015)

Reports & Others (報告書)

1. 波多野慎悟, 渡辺茂, 彌田智一, 物質・デバイス共同研究拠点一般研究課題 研究成果報告書(平成 26 年度), 課題番号 2014241 (2015)

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 高分子ミセルに内包させた蛍光色素を用いた金属イオンセンシング, 2015 年日本化学会春季年会, 東京 (2015/3/26-29)
2. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 蛍光性複合ミセルの合成とセンサへの応用, 第 75 回分析討論会, 山梨 (2015/5/23-24)
3. 波多野慎悟, 渡邊智布, 森一将, 渡辺茂, 彌田智一, Poly(NIPAM)を有する側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマーの合成とマイクロ相分離構造, 第 64 回高分子討論会, 仙台 (2015/9/15-17)
4. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 疎水性色素を内包させた高分子ミセルを利用したHg²⁺検出用の蛍光プローブの合成とセンシング特性, 第 64 回高分子討論会, 仙台 (2015/9/15-17)
5. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素のケミカルバイオセンサーへの応用, 第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015, 東京 (2015/10/13-15)
6. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 疎水性蛍光ミセルを用いたバイオセンシングへの応用, 2015 年度色材研究発表会, 習志野, (2015/10/20-21)
7. 塚本英視, 波多野慎悟, 渡辺茂, 金ナノ粒子を利用した細菌の比色検出に関する基礎研究, 第 38 回溶液化学シンポジウム, 高知, (2015/10/21-23)
8. 渡邊智布, 内山遼介, 波多野慎悟, 渡辺茂, PNIPAM を導入した新規側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマーの合成とマイクロ相分離構造観察, 第 30 回中国四国地区高分子若手研究会, 松山 (2015/11/5-6)
9. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素の水溶化とケミカル・バイオセンシングへの応用, 2015 年日本化学会中国四国支部大会, 岡山 (2015/11/14-15)
10. 波多野慎悟, 両親媒性ブロックコポリマーの応用と展開, 2015 年日本化学会中国四国支部大会, 岡山 (2015/11/14-15) (依頼講演)
11. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素の可溶化とケミカルセンシングへの応用, 第 3 回 高知大学—高知工科大学 ジョイントセミナー, 高知 (2015/11/28)
12. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素の可溶化とケミカル・バイオセンシングへの応用, 「レアメタル戦略グリーンテクノロジー創出への学際的教育研究拠点の形成」特別講演会, 高知 (2015/12/4)

Other Details (その他)

[部門選出の全学委員]

1. 倫理・人権・苦情処理委員
2. 総合情報センター運営委員

[学外委員]

1. 中国四国地区高分子若手研究会 運営委員
2. 高知化学会 事務幹事

[その他]

1. 国際化学オリンピック代表生徒の実験指導
2. 高知大学ラジオ番組『THE こうちユニバーシティ CLUB』, 国際化学オリンピックまでの道のり (2015/9/6 放送), <http://www.fmkochi.com/club/150906.mp3>

■ KAJIYOSHI Koji 梶芳 浩二

Funds (研究経費)

[学内競争的経費]

1. ネットワーク型教育研究プログラム - グリーンサイエンス地域協働国際シンポジウム, 国際化戦略経費, 平成27年度, 350千円.

Books (著書)

1. 梶芳浩二, 電子・光を制御するセラミックス材料 - エレクトロセラミックス, 化学研究最前線 土佐で夢追う研究者たち (高知大学化学系教員編集委員会編), 飛鳥出版室, 52-57 (2015).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 土井貴仁, 梶芳浩二, 電気泳動法によるBaTiO₃配向性セラミックスの作製, 第22回ヤングセラミストミーティングin中四国, 高知 (2015/11/21).
2. 宮井龍太, 梶芳浩二, (Ba, Sr)TiO₃配向性セラミックスの誘電特性, 第22回ヤングセラミストミーティングin中四国, 高知 (2015/11/21).
3. 西山七穂, 梶芳浩二, BaTiO₃配向性セラミックスの誘電特性, 第22回ヤングセラミストミーティングin中四国, 高知 (2015/11/21).
4. 武田啓志, 梶芳浩二, 電気泳動法によるチタニア薄膜の作製, 第22回ヤングセラミストミーティング in 中四国, 高知 (2015/11/21).

Other Details (その他)

[学会・シンポジウムなどの開催]

1. 第22回ヤングセラミストミーティング in 中四国, 高知大学 (2015/11/21) [特別賞選考委員, 中四国大会, 約100名]

[国際交流活動]

1. 共同研究, 華中科技大学, タマサート大学, 酸化チタンナノチューブの合成と応用に関する研究.
2. 共同研究, タマサート大学, コンケン大学, メソポーラスシリカ材料の合成と応用に関する研究.

[学外委員]

1. タマサート大学科学技術学部, 夏季海外インターンシップ受入研究者.

[部門内での活動]

1. 複合領域科学部門地域国際連携委員.
2. 複合領域科学部門主催グリーンサイエンス地域協働国際シンポジウム開催, 高知大学 (2015/12/18) [実施責任者, 約70名]

■ MATSUMOTO Kenji 松本 健司

MEXT (科研費)

1. 微生物型シデロフォアをモデルとした植物用アルカリ耐性鉄供給剤の開発 (代表:松本健司) 基盤研究(C), 平成27年度~29年度, 3,600千円. 代表:今年度獲得直接経費(2,000千円)

Journal Publications (論文)

1. Matsumoto, K., Watanabe, T., Tsuruzono, K., Ueno, D., Iron Supply to Plants Using an Easily Reducible Artificial Microbial Siderophore, FEBS Journal, 282(Suppl.1), 364 (2015).

Books (著書)

1. 松本健司, 生物と鉄, 化学研究最前線 土佐で夢追う研究者たち (高知大学化学系教員 著), 飛鳥出版室, 36-42 (2015).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Matsumoto, K., Watanabe, T., Tsuruzono, K., Ueno, D., Iron Supply to Plants Using an Easily Reducible Artificial Microbial Siderophore, 40th Congress of the Federation of the European Biochemical, Berlin, Germany(2015/74-9).

Domestic:

1. 寺内亨, 渡邊武士, 鶴菌克敏, 岩崎貢三, 上野大勢, 松本健司, 作物の鉄欠乏改善への人工シデロフォア—鉄錯体の利用, 2015 年度 (第 111 回) 日本土壤肥料学会関西支部講演会, 松山 (2015/12/11)
2. 矢野圭耶, 米村俊昭, 松本健司, ポリエーテル部位で架橋されたビス(N-複素環カルベン)を配位子とする Pt(II)錯体の合成, 2015 年日本化学会中国四国支部大会, 岡山 (2015/11/14-15).
3. Matsumoto, K., Takeda, T., Yonemura, T., Conjugate addition using palladium(II)-oxazolinyipyridine complexes with bulky amide groups as catalysts, 錯体化学会第 65 回討論会, 奈良(2015/9/21-23).
4. 久保篤史, 米村俊昭, 松本健司, ベンズヒドリルアミド基を有するビス(オキサゾリニル)ピリジン-Cu(II)錯体の合成とその触媒反応活性, 錯体化学会第 65 回討論会, 奈良(2015/9/21-23).
5. 福田祐馬, 米村俊昭, 松本健司, 直鎖アルキルアミド基を有するビス(オキサゾリニル)ピリジン-Cu(II)錯体を用いた触媒反応における鎖長の影響, 錯体化学会第 65 回討論会, 奈良(2015/9/21-23).

Other Details (その他)

[学外委員]

1. 高知化学会事務幹事

[部門内での活動]

1. 広報委員
2. 特別教育プログラム委員

[地域貢献活動]

(実験講座)

1. 松本健司, 光る錯体を作ってみよう, 夢・化学—2 1 化学への招待 高知大学理学部体験入学, 高知大学 (2015/8/1).
2. 松本健司, 発光性 Cu(I), Ag(I)錯体の合成, 高知小津高等学校 SSH「物質化学体験ゼミ」無機化学分野実験, 高知大学 (2015/12/12).

MEXT (科研費)

(2015/9/2-5)

1. フェージインターフェース制御技術の確立とバイオセンシングへの応用 (代表: 渡辺 茂) 基盤研究(C), 平成27年度~29年度, 1,600千円.

Any Other Funds (その他 研究経費)

【受託研究】

1. フェージインターフェース制御技術の開発 (代表: 渡辺 茂, TANAKAホールディングス株式会社, 200千円 (間接経費を含む)).

【共同研究】

1. PNIPAMを親水性ブロックとする新規側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマーの合成 (代表: 波多野慎悟), 物質・デバイス共同研究拠点一般研究課題, 平成27年度, 配分無.

【学内競争的経費】

1. 迅速・簡便な細菌検出技術の開発をめざす異分野融合研究(代表: 渡辺 茂), 学長裁量経費, 平成27年度, 800千円.

Journal Publications (論文)

1. 藤本 彩, 清岡千尋, 波多野慎悟, 渡辺 茂, レクチン修飾金ナノ粒子を利用した"ラクトフェリン"の凝集費色・光散乱分光分析, 分析化学, 64(9), 679-687 (2015)

Books (著書)

1. 高知大学化学系教員著, 化学研究最前線—土佐で夢を追う研究者たち—『金ナノ粒子の不思議いろいろ』, 飛鳥出版, 94-101 (2015)

Reports & Others (報告書)

1. 波多野慎悟, 渡辺 茂, 彌田智一, 物質・デバイス共同研究拠点一般研究課題 研究成果報告書(平成26年度), 課題番号 2014241 (2015)

Patents (特許)

1. 渡辺 茂, 「表面に微小金属塊が整列した基板」, 欧州登録番号・EP2003091 (出願番号: EP07741001.7)

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Nakano, M., Watanabe, S., Hydrophobic Dye-Encapsulated Pluronic Micelles as Fluorescent Probes for Hg²⁺, The Seventh East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS7), Sakai

Domestic:

1. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 高分子ミセルに内包させた蛍光色素を用いた金属イオンセンシング, 2015 年日本化学会春季年会, 東京 (2015/3/26-29)
2. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 蛍光性複合ミセルの合成とセンサへの応用, 第 75 回分析討論会, 山梨 (2015/5/23-24)
3. 波多野慎悟, 渡邊智布, 森一将, 渡辺 茂, 彌田智一, Poly(NIPAM)を有する側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマーの合成とマイクロ相分離構造, 第 64 回高分子討論会, 仙台 (2015/9/15-17)
4. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 疎水性色素を内包させた高分子ミセルを利用したHg²⁺検出用の蛍光プローブの合成とセンシング特性, 第 64 回高分子討論会, 仙台 (2015/9/15-17)
5. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素のケミカルバイオセンサーへの応用, 第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015, 東京 (2015/10/13-15)
6. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 疎水性蛍光ミセルを用いたバイオセンシングへの応用, 2015 年度色材研究発表会, 習志野, (2015/10/20-21)
7. 塚本英視, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 金ナノ粒子を利用した細菌の比色検出に関する基礎研究, 第 38 回溶液化学シンポジウム, 高知, (2015/10/21-23)
8. 渡邊智布, 内山遼介, 波多野慎悟, 渡辺 茂, PNIPAMを導入した新規側鎖液晶型両親媒性ブロックコポリマーの合成とマイクロ相分離構造観察, 第 30 回中国四国地区高分子若手研究会, 松山 (2015/11/5-6)
9. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素の水溶化とケミカル・バイオセンシングへの応用, 2015 年日本化学会中国四国支部大会, 岡山 (2015/11/14-15)
10. 【招待講演】 渡辺 茂, 自己組織化ナノ構造テンプレートを利用した金ナノ粒子アレイの作製とプラズモンセンサーへの応用, 附置研究所間アライアンス「次世代エレクトロニクス」グループ(G1)分科会高知大学ジョイントシンポジウム, 高知 (2015/11/16-17)
11. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素の可溶化とケミカルセンシングへの応用, 第 3 回 高知大学—高知工科大学 ジョイントセミナー, 高知 (2015/11/28)
12. 中尾美智, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 高分子ミセルを利用した疎水性蛍光色素の可溶化とケミカル・バイオセンシングへの応用, 「レアメタル戦略グリーンテクノロジー創出への学際的教育研究拠点の形成」特別講演会, 高知 (2015/12/4)

Other Details (その他)

【学外委員】

1. 日本化学会 代表正会員
2. 有機合成化学協会中国四国支部 代議員

[部門選出の全学委員]

1. 平成 27 年度研究顕彰制度選考委員会
2. 学内意向投票管理委員会

[部門内での活動]

1. 複合領域科学部門長

[地域貢献活動]

1. 日本化学会中国四国支部広報事業出張講義
高知県立高知農業高等学校, 高知(2015/9/7)

[学内の研究経費]

1. レアメタル戦略グリーンテクノロジー創出への学際的
教育研究拠点の形成 (代表: 上田忠治) 文部科学省特
別経費プロジェクト, 平成25~28年度, 749千円.
2. 海洋性藻類を中心とした地域バイオマスリファイナリ
ーの実現に向けた新技術の創出 (代表: 恩田歩武) 文
部科学省特別経費プロジェクト, 平成27~30年度, 450
千円.

■ KOTSUKI Hiyoshizo 小槻 日吉三

MEXT (科研費)

1. 有機不斉触媒反応を活用した第四級不斉炭素中心含有生物活性天然物の合成 (代表:小槻日吉三) 新学術領域研究・公募, 平成26年度~27年度, 5,400千円.
2. 重水素化ワールド: 革新的有機分子触媒・生体機能性分子の開発(代表:小槻日吉三) 挑戦的萌芽研究, 平成27年度~28年度, 3,000千円

Journal Publications (論文)

1. Kataoka, M.; Fukui, C.; Mimoto, A.; Kuge, H.; Honke, K.; KOTSUKI, H. "A New Strategy for Synthesis of the Dinucleotide pdCpA: A Convenient Method for the Deprotection of Cyanoethyl, TBDMS, and Benzoyl Groups in One Step at High Pressure", *Heterocycles*, **91** (6), 1164–1169 (2015). DOI: 10.3987/COM-15-13223
2. Horinouchi, R.; Kamei, K.; Watanabe, R.; Hieda, N.; Tatsumi, N.; Nakano, K.; Ichikawa, Y.; KOTSUKI, H. "Enantioselective Synthesis of Quaternary Carbon Stereogenic Centers through the Primary Amine-catalyzed Michael Addition Reaction of α -Substituted Cyclic Ketones at High Pressure", *Eur. J. Org. Chem.*, **2015** (20), 4457–4463. DOI: 10.1002/ejoc.201500411
3. Mimura, R.; Kitamori, A.; Ikeda, A.; Matsuda, T.; Nakano, K.; KOTSUKI, H.; Ichikawa, Y. "Biomimetic Approaches Employing the Ugi Five-Center Four-Component Reaction for Synthesis of the Right-Hand Portion of Halichonadin Q and the Central Part of Halichonadin M", *Synthesis*, **47** (19), 3043–3048 (2015). DOI: 10.1055/s-0034-1380438
4. Nunokawa, S.; Minamisawa, M.; Nakano, K.; Ichikawa, Y.; KOTSUKI, H. "Asymmetric Michael Addition Reaction of α -Aryl-substituted Lactams Catalyzed by Chiral Quaternary Ammonium Salts Derived from Cinchona Alkaloids: A New Short Synthesis of (+)-Mesembrine", *Synlett*, **26** (16), 2301–2305 (2015). DOI: 10.1055/s-0035-1560090

Books (著書)

1. 小槻日吉三, 「化学研究最前線—土佐で夢追う研究者たち」, 高知大学化学系教員, 飛鳥出版室; キラリと光るキラなもの作り方—不斉合成化学の魅力, pp 44–50 (2015).

Reports & Others (報告書)

1. 小槻日吉三, 有機不斉触媒反応を活用した第四級不斉炭素中心含有生物活性天然物の合成, 文部科学省科研費・新学術領域研究「有機分子触媒による未来型分子変換」, 平成 25 年度研究成果報告書 pp 231–234, 2015 年 11 月.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Nishiyama, N.; Horinouchi, R.; KOTSUKI, H., **ORGN (#122) 2215**: Thiourea-Catalyzed Generation of Trityl

Cation Species: Application to Carbonyl-Ene Cyclization Reaction, 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2015), Honolulu, (2015/12/15-20).

2. Horinouchi, R.; Kamei, K.; Watanabe, R.; Hieda, N.; Tatsumi, N.; KOTSUKI, H., **ORGN (#122) 2220**: Efficient Enantioselective Synthesis of All-Carbon-Substituted Quaternary Carbon Stereogenic Centers through the Primary Amine-Based Organocatalytic Michael Addition Reaction of α -Substituted Cyclic Ketones at High Pressure, 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2015), Honolulu, (2015/12/15-20).
3. Nunokawa, S.; Minamisawa, M.; KOTSUKI, H., **ORGN (#122) 2218**: Asymmetric Organocatalytic Michael Addition Reaction of α -Aryl-substituted Lactams by Phase Transfer Catalyst: A New Short Synthesis of (+)-Mesembrine, 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2015), Honolulu, (2015/12/15-20).

Domestic:

1. 堀之内僚, 野本裕也, 西山伸雄, 小槻日吉三, チオ尿素系有機触媒を活用したトリチルカチオン種の発生:カルボニル-エン環化反応への適用, 第 31 回若手化学者のための化学道場, 淡路 (2015/8/27-28).
2. 布川しおり, 南澤将光, 小槻日吉三, **10-13**: 第四級キラルアンモニウム塩を触媒とする α -アリーール置換ラクタム類の不斉 Michael 付加反応:(+)-Mesembrine の不斉全合成への適用, 第 45 回複素環化学討論会, 東京 (2015/11/19-21).
3. 堀之内僚, 野本裕也, 西山伸雄, 小槻日吉三, **1P-04**: チオ尿素系有機触媒を活用したトリチルカチオン種の発生:カルボニル-エン環化反応への適用, 第 45 回複素環化学討論会, 東京 (2015/11/19-21).
4. 布川しおり, 南澤将光, 小槻日吉三:第四級キラルアンモニウム塩を触媒とする α -アリーール置換ラクタム類の不斉 Michael 付加反応:(+)-Mesembrine の不斉全合成への適用, 第 3 回高知大学—高知工科大学ジョイントシンポジウム, 高知 (2015/11/28).
5. 堀之内僚, 野本裕也, 西山伸雄, 小槻日吉三, **4H2-35**: ハロゲン化トリチル/チオ尿素:トリチルカチオンによる触媒的分子内カルボニル-エン環化反応及び [2+2]環化付加反応, 日本化学会第 96 春季年会, 京田辺 (2016/3/24-27).

Other Details (その他)

[学外委員]

1. 四国マイクロ波プロセス研究会, 高知地区幹事, 2008/4~現在
2. 2017 年度 (第 33 回) 日本国際賞推薦人
3. 平成 27 年度 徳島文理大学大学院薬学研究科, 博士課程学外審査委員

[地域貢献活動] 公開講座, 市民講座, 出張講義など

4. 暮らしに役立つ有機化学, 教員免許状更新講習, 高知大学, 2015/11/7

[講演]

5. 大学で研究するということ—感動との出逢いを求め

6. て，高大連携化学系フォーラム 2015，高知，2015/11/8
有機不斉触媒反応を活用した第四級不斉炭素中心含
有生物活性天然物の合成，「有機分子触媒による未来
型分子変換」第 6 回公開シンポジウム，大阪，2016/1/22